

グッと"2"心

2010年8月号



ウガンダン・ウマーガ・ポ！
(どうも、こんにちは！)
先日、初めての海外で、現地の人に「あなたは1ヶ月入れば、フィリピン人と区別がつかないよ！」と言われたので、笑ってその場を後にした中里祐一（日本人）です。

8月になりました。今年の夏はとても暑いですね！異常と感じる程、暑い日が続いておりますが、皆様体調を崩されておられませんでしょうか？
仕事や外出する際はいつも以上にケアを心掛けないといけません、しっかり休養と食事を取って暑い夏を乗り切っていきましょう！



初体験～海外編～

先月号にてお伝えさせて頂きましたが、7月中旬に私初めて海外を経験しました。訪れたのはアジアのビーチリゾート、セブ島です。海がとても綺麗で、ヤシの木が生い茂り、まさに南国のリゾートとはこのことだなと感じました！

しかし一方では英語が全く話せない私は、何をしても当たり前のように英語かタガログ語(現地語)で現地の人は話してくるので、「わからない！」と連呼。全く会話が続かないため、相手がドンドン呆れた表情になっていく事はすぐにわかりました。挙句の果てに英語の話せる友人の後ろばかりついて行く始末で……。逆に日本語で話してくれた時は自信を持って英語で「YES！」

と答えました(笑)
全く情けないばかりです。



そして、今回の旅のもう一つの目的として貧困で苦しんでいる人々の実際の生活を体感する事がありました。テレビで見る映像では、正直なところ人事のように感じている部分もあり、自分が現実を見たときにどう思うのか、また現地の人々は実際にどう思っているのかを体感したかったのです。

宿泊したホテルから出るとすぐにテレビで見た風景が広がり、庶民の集まる市場に訪れたときに一番大きな衝撃を受けました。

ある程度予想はしていたのですが、実際に体で感じる臭い、子供達の生活は想像以上でした。

生肉・生魚が並んでいる店頭の台に子供達が寝ていたり、トイレなど衛生施設が整っていないため、悪臭が充満していて申し訳ないのですが、鼻で呼吸する事が出来ない程でした。そしてまだ5～6歳ぐらいの女の子が一人で果物を売っている姿・・・



そのような生活環境の中で生まれ、育ってきた子供達は学校にも行かず、家の手伝いやゴミの山を漁ってその日の生活費を稼いでいる現実。

しかし意外にも印象的だったのが、みんなとにかく笑顔が多いのです。余裕も無く、辛い事も多いと思うのですがとにかく笑っているのです。素晴らしい事ですよ！

現在、多くのNGO団体や企業が貧困国の支援をしていますが、私も個人的にまた会社を通して、貧困で困っている人たちの助けになる事をやっていきたいと思いました。まずは自分の身近なところで出来る事を探して始めていきたいと思っています。

「グッと"2"心(つうしん)」は出会う機会を頂いた方と心と心の結びつきを笑きたいと思って書いたレターです。ご感想、ご指摘等ございましたら下記メールアドレスまでお待ちしております！

株式会社フォー・リーフ 編集責任者 中里 祐一 メールアドレスはこちら！→info@4leaf.co.jp